

式辞（令和4年度）

やわらかな優しい春の陽に包まれ、本日の良き日に、第39回卒業証書授与式を挙行できること、大変うれしく、皆様に感謝申し上げます。

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

中学校生活をコロナ禍で過ごし、様々な制約を受け、落胆すると同時に、先を見通せない不安は計り知れない大きなものであったと思います。

今年度は制約が緩和され、修学旅行を延期せず実施できたことや合唱コンクールを青葉の森で実施できたことは、中学校最後の年に大切

な思い出となったのではないでしょうか。

学校生活では、最上級生としてのあるべき姿を後輩に指し示す場が少なく、よき伝統の継承が難しいと思っていました。しかし、普段の生活では、自分のやるべきことに取り組み、生徒会活動や部活動においても、皆さんは間違いなく頼りになる存在であり、下級生の手本であったと実感しています。

在校生も皆さんの姿に尊敬の念を抱き、送る会では心から感謝と祝福の気持ちを伝えてくれたと思います。

コロナ禍を経験した皆さんは、心のぬくもりや助け合うことの大切さ、忍耐強く取り組む姿勢の重要性を再認識したと思います。培った

力は大きな財産となるはずです。得られなかった経験もありますが、人として大切な心を育てることができたのではないでしようか。

皆さんひとりひとりには、自分にしか果たせない使命が必ずあります。それが何か探しながら、これからの人生を力強く歩んでほしいと心から願っています。

最後に保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。卒業証書を手にしたお子様の凛々しい姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。皆様には、コロナ禍での学校教育活動に対し、深いご理解と温かいご支援をいただいたこと、職員を代表し、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。お子様は卒業しま

すが、地域の学校として今後も変わらぬご支援をお願い申し上げ、  
式辞といたします。

令和5年3月10日

千葉市立稲浜中学校 校長 神戸 重彦

令和四年度

第三十九回卒業証書授与式式辞